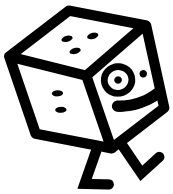
発行日：
2010 年 9月15日

明治学院大学心理学部 白金心理学会報

さいころ



第2号

2009－2010

白金心理学会イベント

- 2009年10月24日
  白金心理学会総会、講演会「子どもの発達と大人のかかわり－自己の育ちを支えるには－」在学生による体験活動発表、卒業生クロストーク
- 2009年12月14日、18日、21日
  第3回白金サイコローゼキャリア支援シリーズ「院進学って、どうなんだ ‘09」開催
- 2010年6月29日
  第4回白金サイコローゼキャリア支援シリーズ「リラクセーションを体験しよう！！」開催

目次：

会報第２号発行に寄せて 1
心理学部の動き －教育発達学科の誕生－ 1
在学生部会活動報告 2
教育発達学科第5回教育キャリア講座　聴講記 2
卒業生訪問 3
Topics 3
第2回総会の報告 4
事務局よりお知らせ 4

会報第2号発行に寄せて

井上孝代学会長（心理学部長）

「さいころ」第2号の発刊に寄せ、白金心理学会のみなさまに心理学部の一大ニュースをご報告させていただくことを嬉しく思います。1990年に文学部に開設された心理学科がちょうど開設20周年を迎えるこの2010年、心理学部に新たな学科である教育発達学科が開設されたのです。これまで心理学部は心理学科単一の学部でしたが、ここに1学部2学科という、より充実した心理学教育の体制が整ったことになります。2学科体制とはなりましたが、「こころを探り、人を支える」という学部教育理念を同じくします。両学科ともに現代社会に貢献できる心理支援力をもつ人材の育成という共通のテーマに添いながら、心理学科・教育発達学科のそれぞれの特徴（専門性）に応じた教育・研究の進展が期待されます。今後は、一般企業や公務員、心理専門職などにくわえ、多くの教育職に携わる卒業生も輩出していくことでしょう。まさに、心理学を学んだ多彩な卒業生のネットワークがますます広がっていくに違いありません。こころの世紀といわれるさまざまな心理的問題が多い今日にあって、心理学部は2学科体制への改組を機に、新しい心理学教育のスタンダード構築に向けた確かな歩みを踏み出したといえるでしょう。そう、良い意味で、「賽（さいころ）は投げられた！」のです。

井上孝代先生

心理学部の動き

藤﨑眞知代先生（教育発達学科主任）

教育発達学科の誕生

今日、学校現場が抱えているさまざまな問題を解決するためには、子どもだけでなく保護者、そして教師自身の「こころの理解と支援」が不可欠です。そこで、心理学科がこれまで培ってきた「心理支援力」をベースとして、人の生涯発達を理解した上で多様なニーズを捉え支援する「発達支援力」、さらに各教科を超えて子どもの学びを支える「教育実践力」の3つの力を備え持った人材を、心理学部において養成することの意義は大きいといえましょう。教育発達学科は、このような3つの力をもった初等科の教員のほか、幼稚園、あるいは特別支援学校の教員となる一種教員免許状が取得できる学科として、この4月からスタートしました。4年間のカリキュラムは心理学を基盤として教育学（初等教育）、障害科学を融合した教育発達学を大学内での講義や小グループでの実習→大学外での体験活動→さらに大学内での講義・実習・ゼミといった循環型教育システムを特徴としています。

学科を立ち上げるために特別支援領域の緒方先生、金子先生、小林先生、そして心理学領域の清水先生と藤﨑が心理学科から移籍し、新たに教員養成、小学校教育、あるいは教育行政に携わってこられた9名の先生をお迎えしました。教育発達学科の学生、および教員も白金心理学会の会員として、皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。

在学生部会活動報告

安齊数真（在学生部会SC）

第4回キャリア支援イベント「リラクセーションを体験しよう！！」

ストレスマネジメントの体験をしました

こんにちは、白金心理学会在学生部会です。2009年度夏～2010年度夏までの活動を報告いたします。

第一に我々は2009年夏ごろ、心理学部心理学科に属する全ゼミの紹介ページを設立いたしました。このHPは、主にゼミの選択に悩む本学の二年生をターゲットに、ゼミでの生活を学生目線で書いてもらおうと、各ゼミ長に執筆を依頼しました。結果としてそれぞれの個性が溢れ、かつ学生達からの目線で書かれた内容を掲載する事ができました。

今後の予定として、年度別に本学部のゼミのデータを蓄積していき、ゆくゆくは受験期に本学を受験するか迷っている方に一つの指標としていただいたり、また本学を卒業する方々にも懐かしみを持って見てもらえるようなサイト作りを目指していきたいと思います。

白金心理学会のHPに「ゼミ紹介」というページがありますので、興味のある方はぜひ見ていただけると嬉しいです。

通級指導学級の教員として教壇に立つ　長崎悠さん

第二に同年の秋頃に院進学イベント「院進学ってどうなんだ？'09」を開催しました。これは実際に大学院を卒業されて心理系の職に就かれている方々、また心理学系の大学院に進学されて研究をされている学生の方々に本校に来ていただきました。そして、院進学についてどのような勉強をしたか、大学での生活はどのようなものだったのか等、ご自身の体験談を話して頂きました。院進学か就職か、はたまたそれ以外の進路に進むのかといった将来に悩む二、三年生に対して一つの道標を作るために企画をさせていただきました。前年度にもこのイベントは開催いたしました。そのときは臨床系の方のみの講演だったのですが、今回は臨床領域に加え、特別支援領域と基礎領域の方にもお越しいただき、多様なニーズに応える事ができました。この場をお借りしまして、同イベントにご登壇くださいました小島真紀子様、中嶋智史様、半澤かほり様、渡辺友香子様、神田達彦様、竹内大祐様には、個人の貴重な時間を割いて本学に足を運んで頂いた事をお礼申し上げたいと思います。有益な時間を提供していただきまして本当にありがとうございました。

ご自身の大学院での体験を語る竹内大祐さん

第三に今年の初夏に本学心理学部教授の金沢吉展先生に大学生活等で精神的、肉体的に疲労を感じている学生に向けて、リラクセーションイベントを行っていただきました。これは先生の専門でもある健康心理学のストレスマネジメントの技術を使ったものです。誰でも、どこでも、手軽にできる呼吸法やイメージの技法を体験させていただきました。イベント中に心地が良すぎて寝てしまう学生が多く、終わった後には皆晴れやかな顔で帰っていたのが非常に印象的でした。

これから、これまでに挙げた事以外にも様々な新しいイベントを企画しております。今後も精進してまいりますので、今まで通り温かい目で見守っていただけると幸いです。

教育発達学科　第5回教育キャリア講座

『新米教師のつぶやき～小学校教員になって』聴講記

山崎小百合、岡村志織、松葉香菜（在学生部会SC）

長崎さんの実体験に、たくさんの学生が熱心に耳を傾けていました

2010年7月30日、心理学部教育発達学科の第5回教育キャリア講座が開かれました。「新米教師」として来校していただいた長崎悠さんの話を聞くことができました。長崎さんは2008年3月に本大学を卒業後、1年間国立大学附属特別支援学校にて知的障害を持つ生徒を指導、さらに1年間区立小学校の通常級の3年生の担任をし、現在は同小学校の通級指導学級を担当していらっしゃいます。それぞれの勤務体験を通して長崎さん自身が感じた喜びややりがい、指導をする上での工夫、苦悩や大変なことを聞くことができました。教師になることは入学当初から考えていたわけではなかったそうです。学生時代は長期のボランティアをされていて授業で学ぶだけよりも実践的に多くを学べたそうです。

聴講していた学生のほとんどは教育発達学科の学生でした。長崎さんは大学卒業後、働きながら他大学の通信制で小学校教諭免許（二種）を取得しているので、「教育発達学科が自分の頃にもあったらなぁ」と呟いていらっしゃいました。

卒業生訪問

佐藤響子（在学生部会SC）

先輩方はどのように進路を決定し、現在、社会人としてどう過ごされているのだろう？そんな疑問について、卒業後、一般企業に就職された川上友典さん（印刷関連会社勤務）と中田美沙さん（銀行勤務）にお話しを伺ってきました。

―進路を決める際、最初から就職と決めていましたか？

川上さん「最初から就職と決めていました。」

中田さん「私は3年の途中までは進学志望でしたが、一度社会に出てから心理職を目指す道もあるのではと考えるようになり、就職を選びました。」

―就職活動を振り返ってみてどう思いますか？

川上さん「僕は今しか出来ないことだと就職活動をポジティブに捉えて、自分から動くようにしていました。就職活動を始めた頃は分からないことも多かったので、とりあえず合同説明会に参加したり、エントリーシートを出すようにしました。そうやって自分から動いたことで、自分を振り返るきっかけが得られたのは大きかったです。また、就職活動を進めるにつれ自分のやり方やペースが分かってくるようになり、それを大事にするようにしていました。具体的には3年の5月頃から合同説明会に参加し始め、10月頃からエントリーシートを出すようになりました。業種には特にこだわりはなかったのですが、気づいたら2つくらいに絞られていましたね。」

(左)川上友典さん
(右)中田美沙さん

中田さん「私にとって就職活動は山あり谷ありなものだったように思います。私は3年の8月頃から合同説明会に参加するようになったのですが、その頃は会社や就職活動について新たに知ることが多く、ポジティブに就職活動に取り組めていました。ですが、11月頃から就職活動が本格化するにつれて、どこの企業を受けるかなどの取捨選択を迫られることが辛くなってきてしまって。私はSPIが苦手だったので、12月頃に面接やSPIを受ける中で、勉強も必要だという社会の厳しさの一つの面を知ったというのも大きかったです。3月にずっと第一志望だった企業にエントリーシートで落とされてしまったのですが、それによって自分が企業の求めるニーズに気付けていなかったことを知り、その後は気持ちを切り替えて就職活動に取り組んでいましたね。」

―就職してみて、感じたことはなんですか？

川上さん「僕は営業担当なので、お客さんの話を聞いたり、色々なことを調整する上で心理学は役立っているように思います。また、学生時代はやりたいことが中心でしたが、社会人になってからはやらなければならないことが中心になりましたね。自分がやることの裏でそれに関わる人が常にいるので、責任も大きくなったと思います。ただ、一人でやらなければならないこともありますが、組織として動いているという認識も持っていなければならないとも感じています。学生の時と中身は同じだけど、やっぱり違うな、変わったなと感じる部分はありますね。」

中田さん「私も心理学はどんな場面にも応用できるように思います。また、私は社会人7ヶ月目で大きな挫折を体験したのですが、その経験を通して自分の考え方が大きく変わりました。最初は自分には合っていないのかもと思っていた仕事も、今は楽しめるようになってきましたね。また、仕事自体は個人業務ですが、課としてはチームでもあるので、そういった点で人間関係も重要だなと感じています。」

今回、お二人のお話を伺い、社会人の方の日常を知ることができたというのは自分にとって良い刺激になりました。また、就職された先輩方がどのように進路を決定し、就職活動でどんなことを感じ、考えていたのか、それらの学生生活を経て今どのように過ごされているのか知ることができたことで、これからの進路決定に対する見通しが少し明確になったように感じました。

川上さん、中田さん、お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

Topics

2010年6月5日
教育発達学科開設記念
講演会・シンポジウムが
開催されました

東京大学大学院教授
秋田喜代美先生による
基調講演

同じくシンポジウムの様子
詳しくは下記のURLへどうぞ
http://www.meijigakuin.ac.jp/pe/

明治学院は2013年に
150周年を迎えます
http://mg150.jp/

第2回総会の報告

金子　健先生(2009年度白金心理学会総会実行委員長)

第2回総会　クロストークの様子
（左から）大沢紅果さん、今井洋一さん、飯田亜佳さん、大久保街亜さん

2008年11月に第1回総会の開催によって明治学院大学心理学部白金心理学会がスタートしてから1年、第2回総会・講演会は2009年10月24日（土）に開かれました。

総会では井上学部長・学会長のご挨拶に続いて、事業報告、会計報告、そして清水良三先生による監査報告等が滞りなく行われ、承認されました。

引き続き藤﨑眞知代心理学部教授による講演「子どもの発達と大人のかかわり　～自己の育ちを支えるには～　」が行われました。発達心理学がご専門の先生のお話は、特に子育て中の卒業生にとって、毎日の自らを振り返る良い機会となったことでしょう。

後半は、子育て真っ最中で臨床心理士でもある卒業生の飯田亜佳さん（05年度生）、幼稚園教諭の今井洋一さん（03年度生）、障害児支援施設指導員で子育て中の大沢紅果さん（94年度生）の3人によるクロストーク。まさに公私にわたって「子どもの発達と大人とのかかわり」の最前線で活躍する皆さんの熱いトークは、現役の学生の皆さんの学びの機会でもありました。

クロストークに先立って、在学生による体験活動発表がありました。体験活動とは、文部科学省の教育ＧＰに選定された「心理支援論」を中核とする教育活動の一翼を担うもので、学生は学校や障害児施設での様々な活動に参加し、支援の仕組みや方法を実践的に学ぶというものです。いくつかの活動の場の中には卒業生が活躍する職場もあります。白金心理学会は大学の教育活動と卒業生を結ぶ役割をこれからも担っていきます。

事務局より　お知らせ

○第3回白金心理学会総会が開催されます

来る2010年11月6日（土）13：00から白金校舎2301教室において「心理学科開設20周年記念事業・第3回白金心理学会総会」が開催されます。今年は東京国際大学大学院の角山剛先生をお招きして心理学科開設20周年記念講演「心理学とキャリア形成　―豊かなキャリア形成に向けて―」や心理学部教員2名による小講演を予定しております。参加無料（懇親会は有料）ですが、白金心理学会Web,Fax,E-mailによる事前申込みをしてください。左記方法で不都合な方は電話でも承ります。皆様のご参加をお待ちいたしております。

○卒業生のみなさまへ　白金心理学会にご入会ください！

すでに心理学部在学生（学部・院）には、入学時や授業時にリーフレットを配布しご案内しております通り、在学期間中は白金心理学会費として一人年間2,000円をお預かりしております。

卒業生のみなさまにおかれましては、同封のリーフレットをご参照のうえ、ぜひご入会くださいますようお願いいたします。

お預かりした会費は、次のような活動費用にあてられます。

・心理学部（学科）卒業生、教員・在学生との交流会の企画及び運営
・在学生、卒業生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
・心理学部（学科）名簿管理
・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営

ご不明な点がございましたら、白金心理学会事務局までご連絡ください。

皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力ください！

卒業時より現住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会web（http://sirosin.org/）の「卒業生へのお願い（連絡先変更登録）」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願いいたします。

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108－8636
東京都港区白金台1－2－37
明治学院大学
心理学部共同研究室内

TEL＆FAX:
03(5421)5814
問い合わせ用E-mail:
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp
総会･懇親会申込用E-mail:
psycholo@psy.meijigakuin.ac.jp
URL：http://sirosin.org/
（QRコードもご利用になれます。）